



長和会館で餅つきをする男の子。地域の方に支えてもらいながら、大きくて重いきねを力いっぱい握り、おいしいお餅ができるように、慎重にお餅をついていました。

毎月1日発行
発行・編集 / 小樽市総務部広報広聴課
☎013424111内線223、☎013424331
✉koho@city.otaru.lg.jp

小樽市役所

〒047-8660 小樽市花園2丁目1番1号
☎013424111(代表)
執務時間：午前9時～午後5時20分

小樽市ホームページ
小樽市



広報番組

- ☐ テレビ
 - 小樽フレッシュニュース(S・T・V) 毎週土曜日：午前10時25分
- ☐ ラジオ
 - 小樽市民ニュース(FMおたる/76.3MHz) 月～金曜日：午前9時40分ごろ 土・日曜日：午前9時53分ごろ
 - 明日へ向かってスクラムトライ!(同) 第1・3月曜日：午後2時 放送翌日の水曜日：午後7時(再放送)
 - ※FMおたるのホームページからも聴くことができます。

住民基本台帳人口

(令和5年11月30日現在)
人口：10万6624人
(うち外国人人口867人)
男4万8233人・女5万8391人
世帯数：6万871世帯

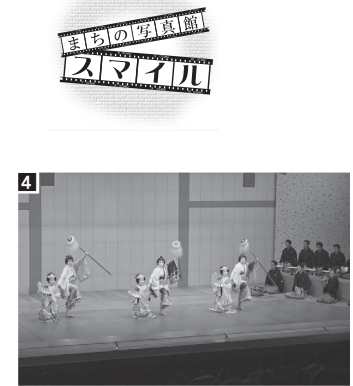
防災関係の連絡先

小樽市消防本部 ☎9137
小樽市水道局 ☎8111
小樽警察署 ☎0110

当番医の診療時間

祝日を除く 月～金曜日	祝日を除く 土曜日	日曜日・祝日 年末年始
夜間急病センター	夜間急病センター	夜間急病センター
午前7時～ 午前9時	かかりつけ医等	当番医
午後0時30分～ 午後2時	夜間急病センター	夜間急病センター
午後5時～ 午後6時	夜間急病センター	夜間急病センター

当番病院は、テレホンサービス(録音による案内)☎4618または小樽市医師会のホームページで確認できます。
○テレホンサービス案内時間
土曜日：午前7時～午後2時
日曜日、祝日：午前9時～午後6時
※医療相談は行っていません。



1 12月2日、多賀少年野球クラブの監督で、メディアで活躍している辻正人氏が小樽を訪れ、小学生に野球を教えました。子どもたちは真剣な表情で指導を受け、実際に身体を動かしながら、効果的な練習方法を学んでいました。

2 11月23日、生涯学習プラザで「第7回レビオフェスティバル」を開催しました。普段レビオで活動している絵手紙や書道などの教室が自信作を展示。ステージ発表では、オープニングで子どもたちがヒップホップを披露し、温かい拍手に包まれました。

3 11月23日～26日、ウイングベイ小樽で「otaruスイーツフェスタ2023」が開催され、過去最多の50店舗が自慢のスイーツを販売。11月の竜王戦第4局で藤井竜王が選んだ「塩バター大福」が急ぎも販売され、多くの買い物客ににぎわいました。

4 11月26日、京都など全国11カ所をまわる「日本舞踊キャラバン」の北海道公演が市民会館で開催されました。小樽のほか道内で活動する日本舞踊家が、色鮮やかな着物をまとって恋心をつづった華やかな踊りを披露し、観客を魅了しました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。

新春を迎え皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます



HOKKAIDO SHINKIN BANK

http://www.shinkin.co.jp/hokkaido/

- <小樽・緑支店> 小樽市稲穂1丁目4-10 ☎0134-22-3121
- <手宮・高島支店> 小樽市錦町3-12 ☎0134-22-1126
- <長橋支店> 小樽市長橋2丁目16-4 ☎0134-22-1139
- <入船支店> 小樽市入船1丁目10-10 ☎0134-22-1174
- <桜支店> 小樽市桜1丁目17-8 ☎0134-54-5600
- <朝里支店> 小樽市新光1丁目10-15 ☎0134-54-8158
- <銭函支店> 小樽市銭函2丁目37-4 ☎0134-62-3121
- <本店> 札幌市中央区南2条西3丁目15-1 ☎011-241-2122

02 特集
移住者に聞く小樽の魅力

06 パートナーシップ宣誓制度が始まりました

07 第7次小樽市総合計画 令和4年度の進捗状況

08 トピックス2023

09 小樽市消防出初式

10 情報パレット

20 まちの写真館スマイル



海があるまちにひかれ 小樽へ

▲札幌市内に通動している阪友香理さん。元々は札幌に住んでいましたが、友人の勧めや、海辺での暮らしへの憧れから、令和4年に小樽へ移住しました。

**移住したきっかけを
教えてください**
友人の誘いと海です。小樽に住む友人が楽しそうに暮ら

している様子が印象的でした。小樽を訪れるたびに、その友人がすてきなカフェやレストランなどを紹介してくれました。私が小樽での暮らしをうらやましがっていると、友人が「引越してきたら？」と誘ってくれたのがきっかけです。その翌月には引越先の内見をしていましたね。あとは、好きな映画の影響もあります。その映画の舞台になっている鎌倉と小樽が似ている、古いものと新しいものが両方ある海沿いのまちという点も決め手でした。

**移住した感想を
教えてください**

仕事を終えて小樽に帰ってくると、ほっとします。近くにおいしい飲食店もたくさんあって、毎日が楽しいです。うれしかったのは、夏にお祭りが多いことですね。毎週どこかでお祭りをやっている、しょっちゅう行っていました。小樽のお祭りは、地元の人たちでにぎわっているアットホームな雰囲気なので、人の温かさを感じることができてとて

も好きです。きっかけは友人の誘いと海でしたが、住めば住むほど、好きになるまちだなと感じています。



晴れた日には、海沿いの公園のベンチで読書をする

**小樽の魅力
を教えてください**

古さと新しさが共存しているところ。歴史ある建造物が多いので、まちを歩くだけでも楽しめます。昔ながらの飲食店も多い一方で、若い人たちがしているお店も多くあるところが魅力です。行きたいお店を探すときは、友人に聞いたり、SNSを見たり

**小樽のおすすめスポット
を教えてください**

ステンドグラス美術館です。小樽に来る知人には必ず勧めたいですね。壁一面に飾られたステンドグラスに時間を忘れて見入ってしまいます。小さなステンドグラスを作る体験もしたので、実際にガラスに絵を描くこともできてとても楽しかったです。



思い出が詰まった作品に



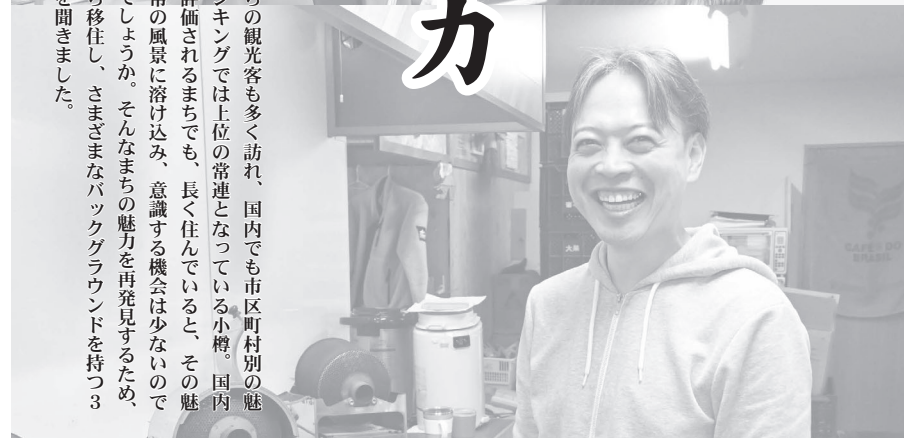
＝特集＝

移住者に聞く

小樽の魅力



海外からの観光客も多く訪れ、国内でも市区町村別の魅力度ランキングでは上位の常連となっている小樽。国内外から評価されるまちでも、長く住んでいると、その魅力は日常の風景に溶け込み、意識する機会は少ないのではないのでしょうか。そんなまちの魅力を見つめるため、市外から移住し、さまざまなバックグラウンドを持つ3人に話を聞きました。



家族を思い、横浜から

自然豊かな地元小樽へ

移住したきっかけを 教えてください

学生の時から、いずれは親孝行のために小樽に戻って来ようと思っていました。それに、まだ先の話ですが、海外に挑戦する若手美容師の助けがができるように海外展開に興味があつて、そのためのステップとして、慣れ親しんだ地元小樽で初めて自分のお店をオープンしました。他にも、関東地方は自然に囲まれた環境が多くないので、子どもたちにも自然を感じながら成長してほしいと思つたこともきっかけです。

移住した感想を 教えてください

まず、両親が喜んでくれた

移住したきっかけを 教えてください

東京の専門学校に在学中、バイクで日本一周をしました。その時に北海道を訪れたのですが、四季が、つきりとしていて、ところが、雄大な自然にひかれたことが移住の決め手です。札幌で働き始めましたが、より自然豊かな場所を探していたので、入社1年目で転勤願を出して、小樽での生活が始まりました。

移住した感想を 教えてください

まちに流れている時間が穏やかだなと感じます。関東地方に住んでいた頃を振り返ると、時間がせわしなく流れていて、心に余裕がなくなつたように思います。今でも時々、都心部に行きますが、下を向いて速足で歩いている人が多いのが印象的です。小樽では、自然を身近に感じ穏やかな時間



▲小樽で生まれ育ち、横浜で美容師をしていた永沼信一さん。高齢の両親への親孝行のため、家族で地元小樽へ戻り、令和5年に美容室「draw+」をオープンしました。

が下りているお店や空き家などが目立つなと感じました。観光客が「また来たい」と思うまちにするためには、にぎわいを取り戻すことが大切だと思います。そのために、他業種の人と自分のお店でイベントを企画したいですね。今は、自分のお店が、まちの活性化の起点の一つになればと思っています。

小樽の魅力 を教えてください

古い歴史や文化が残っていて、それに気軽に触れることができることですね。旧三井銀行小樽支店で行われたイベントで、小樽の歴史を振り返る動画を見た時に改めて小樽の歴史の深さを感じました。あと、海や山などの自然も近くにあって、夏には海に行ったり虫を触ったり、冬にはスキーをしたりして、子どもたちが自然の中で成長することができる場所です。気軽にける距離にスキー場が何箇所もあるのも良いですね。この冬は子どもたちと一緒にウィンタースポーツを楽しみたいと思っています。

小樽のおすすめスポット を教えてください

天狗山や平磯公園から見える夜景です。あまり有名ではないですが、平磯公園から見える築港方面の夜景がきれいですね。あとは、朝里ダムです。紅葉のシーズンもきれいですし、若い頃によく行っていたこともあって、すごく懐かしい気持ちになります。

穏やかな時間にひかれ小樽で起業

を過ごすことができている。一方で、人口減少が進んでいる現実もあるので、地域を大切にしつつ、インターネットを活用した販売にも力を入れる必要があると感じています。

起業した理由を 教えてください

「子どもには、大人になって働くことがつまらなく見えるのでは？」と感じたことがきっかけです。子どもたち

小樽の魅力 を教えてください

移住のきっかけにもなった自然です。海と山が近くにあるので、四季折々の景色を身近に感じることができます。野菜や魚などの食が美味しいところも魅力ですね。このような地域は、全国的に見てもなかなか珍しいのではないのでしょうか。あと、札幌中心部や空港へのアクセスも電車一本で気軽に行くことができるのも大きな魅力です。

小樽のおすすめスポット を教えてください

東小樽海水浴場と熊確神社



▲学生時代に訪れ、北海道を好きになった立岩豊さん。就職後、転勤を希望して小樽へ。地域の子どもたちに「楽しく働く大人の姿を見てほしい」と思い、会社を退職し、令和2年に「コーヒーロースト小樽」をオープンしました。

です。波の音を聞くと落ち着きます。熊確神社に行く途中に坂や階段がありますが、そこから振り返ると、東小樽の海を眺めることができます。

好きですね。いろいろな発見があるので、暖かい季節に近所を散歩してみるのもおすすめです。
◆お問い合わせは、広報広聴課 ☎4311内線223、☎4331へどうぞ。



店内には、趣味のレコードや友人からの開店祝いも並ぶ

パートナーシップ宣誓制度 が始まりました

誰もが暮らしやすい社会
を目指して

固定観念による差別や偏見により、深刻な困難を感じている方々にとっても暮らしやすい環境づくりにつながることを目的としたパートナーシップ宣誓制度。

性的マイノリティの方が、一緒に人生を歩むパートナーとして、日常の生活において相互に責任をもって協力しあうことを約束した関係であることを宣誓し、市長がその関係を承認することにより、二人がパートナー（婚姻に相当する関係）であることを証明する制度です。

この制度は、婚姻制度とは異なり、法的な権利や義務は発生しませんが、市の手続きなどで利用できるものがあります。

市では、LGBTなどの性的マイノリティの方が暮らしやすい社会を実現するため、1月から「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。ここでは、制度の概要についてお知らせします。

- ### 宣誓の対象となる方
- 一方または双方が性的マイノリティであること
 - 成年に達していること
 - 双方が市内に住所を有するか、3カ月以内に市内への転入を予定していること
 - 配偶者や他のパートナーシップ関係にある方がいないこと
 - 二人の関係が近親者（養子縁組を除く）でないこと

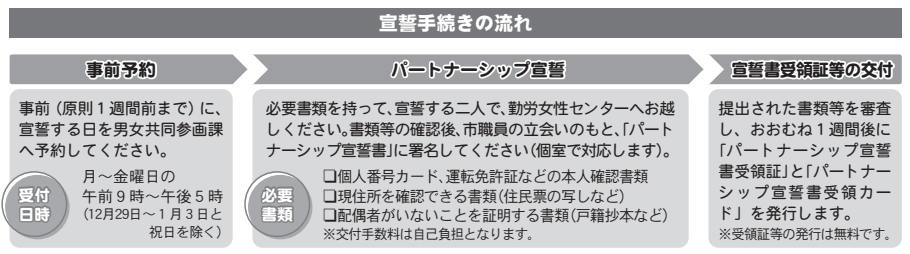
まず（下の表を参照）。市では、この制度の導入により、性の多様性に関する市民の理解が深まり、お互いの人権を尊重する意識が育まれ、誰もが自分らしく生き生きと活躍できる社会が実現することを目指します。

◆お問い合わせは、男女共同参画課 ☎5904、☎26081へどうぞ。

宣誓することで利用できるようになる主な手続き

手続きの内容	お問い合わせ
住民票に関すること パートナーと世帯が同一の場合、申し出により、住民票の続柄を「同居人」ではなく「縁故者」として登録できるようになります	戸籍住民課 ☎4111内線281
税の証明書に関すること 世帯が同一であるパートナーに関する次の証明書は、委任状がなくても交付を受けられるようになります 所得・課税証明書、所得証明書、納税証明書、固定資産評価証明書、固定資産課税証明書、無資産証明書、市税に滞納がないことの証明書	個人市民税・軽自動車税に関すること 市民税課 ☎4111内線242～245 固定資産税に関すること 資産税課 ☎4111内線247
市営住宅に関すること パートナーとの入居の申し込みや、同居の申請ができるようになります	市営住宅管理事務所 ☎5660
市立病院に関すること パートナーの入院や手術に関する説明を聞いたり、同意書にサインしたりすることができるようになります	市立病院 ☎1211
図書館に関すること 同居しているパートナーの利用者カードを連携することにより、お互いの予約図書を受け取れるようになります	図書館 ☎7726

※上記の手続きは、パートナーシップ宣誓書受領証等の提示が必要です。
※この他の手続きなどについては、市ホームページに掲載しています。



令和4年度の 進捗状況

第7次小樽市 総合計画

本市の市政運営についての指針となる総合計画。数値化している191の指標の動きや、テーマ別の支出額とその割合など、4年度の進捗状況についてお知らせします。

指標の動きと決算額を確認

第7次小樽市総合計画では、「まちづくり6つのテーマ」である「子ども・子育て」「市民福祉」「産業振興」「生活基盤」「環境・景観」「生きがい・文化」と、「人口減少・少子高齢化への対応」のそれぞれの分野で関連する指標を定め、その進捗状況を明らかにするため、毎年、その数値を確認しています（4年度の進捗状況は左

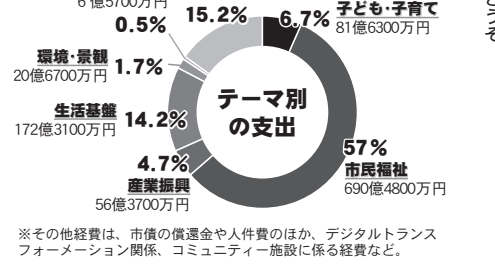
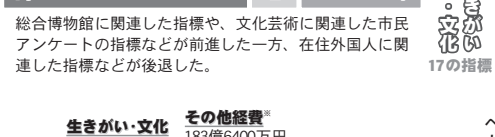
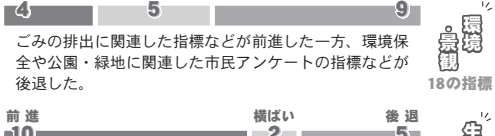
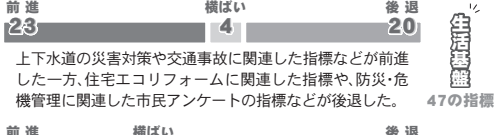
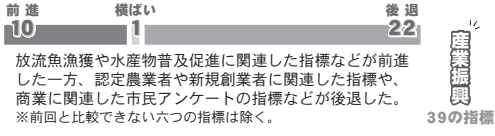
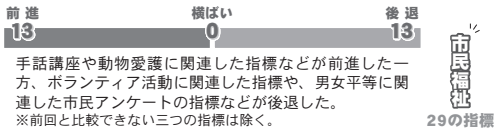
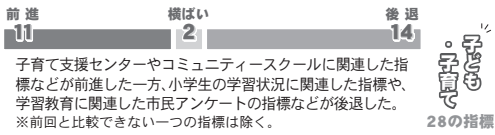
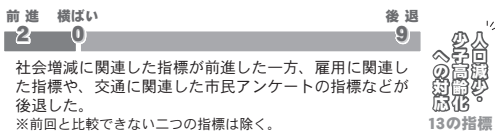
上のとおり）。

また、4年度の決算における、一般会計と特別会計の歳出額、企業会計の支出額（収益的支出と資本的支出の額）の合計を分類した、テーマ別の支出額とその割合は、左の円グラフのとおりです。

市では現在、総合計画の中間見直しを進めています。この計画で示した取り組みの方針等を再検討するに当たり、これまでの進捗状況の確認結果を活用していく予定です。

◆お問い合わせは、企画政策室 ☎4111内線274、☎26727へどうぞ。

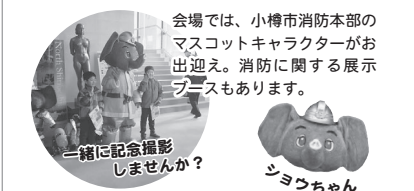
各分野の指標の動き





令和6年1月7日(日)
午前10時～11時30分まで
市民センター
※公共交通機関をご利用ください。

4年ぶりに市民の皆さんも観覧できる形式へ戻して開催します。消防職員と消防団員のりりしく輝かしい姿を、ぜひ会場でご覧ください。
◆お問い合わせは、消防本部総務課 ☎9130、☎9182 へどうぞ。



自分の住むまちのために、無理なく
「できることを、できるときに」の姿勢で参加してみませんか

18～70歳の方が活躍
女性団員も約50人在団
災害や訓練への出場は報酬を支給

入団のご連絡は消防本部総務課(消防団担当)へ
☎9130、✉syobo-dan@city.otaru.lg.jp

令和5年を振り返って… 写真で紹介したほかに

- 1月 10日 12時間での降雪量が統計を開始した1999年以降最多となる46cmを記録
- 2月 1日 小樽商工会議所に「おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンター」を開設
- 11日 第25回小樽雪あかりの路が3年ぶりに通常開催(～18日)
- 27日 銀鱗荘が国の登録有形文化財に
- 3月 3日 2代目小樽コンシェルジュが決定
- 13日 新型コロナウイルス感染症の感染対策として推奨されていたマスクの着用が、個人の判断へ
- 31日 花園高架下商店街が営業を終了。58年の歴史に幕
- 4月 1日 上石明副市長が就任
- 9日 統一地方選挙(知事・道議会議員選挙)
- 10日 4年ぶりに外国船籍のクルーズ船が小樽港に入港
- 23日 統一地方選挙(市議会議員選挙)
- 5月 8日 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類感染症へ
- 27日 世界で最も有名なクルーズ船「クイーン・エリザベス」が小樽港に初寄港
- 6月 15日 北海道が小樽市東部にヒグマ注意報を発出(～7月14日)
- 17日 小樽市と余市町の境界付近に建設が計画されていた風力発電所について、事業者が計画中止を発表
- 18日 第35回おたる運河ロードレース大会開催
- 28日 小樽駅が開業120周年を迎える
- 7月 4日 埼玉県春日部市と連携協力に関する都市間協定を締結
- 25日 伊藤園お～いお茶杯第64期王位戦第3局が銀鱗荘で対局(～26日)
- 28日 第57回おたる潮まつり開催(～30日)
- 8月 3日 統計を開始した1943年以降初めて最低気温が25度以上となる熱帯夜を記録
- 31日 並行在来線代替バスの運行実験(体験乗車会)を実施(～9月3日)
- 9月 1日 認可保育所と認定こども園(保育部分)の保育料を引き下げ・第2子以降を完全無料化
- 19日 小樽市温暖化対策推進実行計画(区域施策編)を策定
- 10月 13日 第46回全国町並みゼミ小樽大会開催(～15日)
- 20日 北海道新幹線新小樽(仮称)駅の駅舎デザイン案を公表
- 30日 建立から100年を迎えた小樽公園頭詠塔の改修が完了
- 11月 1日 小樽・余市ゆき物語開催(～6年2月18日)
- 1日 おたるプレミアム付商品券の販売開始
- 17日 市内小中学校の全ての普通教室にエアコンを設置することを発表
- 12月 6日 北海道済生会と地域共生社会の実現に関する包括連携協定を締結
- 27日 小樽運河が完成から100年を迎える

Sep.16
オタルオータムフェス2023

9月16日～18日、小樽運河完成100年を記念してオタルオータムフェス2023が開催されました。日銀通りなどを会場に、飲食店の出店やステージ企画など、さまざまなイベントが行われました。

Jun.10
新小樽(仮称)駅の起工式

6月10日、北海道新幹線新小樽(仮称)駅の高架橋工事の起工式が行われました。建設が始まったのは、天神地区と朝里川温泉地区の合わせて360mにも及ぶ高架橋で、令和12年度末の開業を目指しています。

Jan.13
第3倉庫に関する連携協定

1月13日、NPO法人OTARU CREATIVE PLUSと旧北海製缶小樽工場第3倉庫の保全・活用に関する連携協定を締結しました。11月10日～12日には、第3倉庫の新たな魅力を探るための社会実験イベントが開催されました。

トピックス Topics 2023

Nov.10
銀鱗荘で第36期竜王戦第4局

11月10日～11日、銀鱗荘で第36期竜王戦第4局が行われ、藤井聡太竜王が勝利し3連覇を果たしました。前夜祭では、11月4日に開催した「おたる将棋まつり」の小中学生将棋大会の優勝者から対局者へ花束が贈られました。

Jul.28
4年ぶりの小樽がらす市

7月28日～30日、旧国鉄手宮線で4年ぶりに小樽がらす市が開催されました。市内外から集まったガラス工房20店が軒を連ね、うだるような暑さの中でも、個性豊かな風鈴が涼しげな音色を奏でていました。

Jan.26
小樽市有形文化財に指定

1月26日、林家旧蔵アイヌ民俗画が小樽市有形文化財に指定されました。この資料には、19世紀の後志地方に暮らしたアイヌの人々の自然な生き方や儀式的動作、道具の解説などが描かれています。